



2018年11月9日

各位

上場会社名 ポーソー油脂株式会社
 代表者 代表取締役社長 齋藤 典幸
 (コード番号 2608)
 問合せ先責任者 取締役執行役員管理本部長 川崎 薫
 (TEL 047-433-5551)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、2018年5月11日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

2019年3月期第2四半期(累計)連結業績予想数値の修正(2018年4月1日～2018年9月30日)

| | 売上高 | 営業利益 | 経常利益 | 親会社株主に帰属する四半期純利益 | 1株当たり四半期純利益 |
|-------------------------------|-------|------|------|------------------|-------------|
| | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 円 銭 |
| 前回発表予想(A) | 6,020 | △150 | △170 | △180 | △120.92 |
| 今回修正予想(B) | 5,935 | △230 | △240 | △250 | △168.81 |
| 増減額(B-A) | △85 | △80 | △70 | △70 | |
| 増減率(%) | △1.4 | — | — | — | |
| (ご参考)前期第2四半期実績(2018年3月期第2四半期) | 7,036 | △200 | △218 | △397 | △265.40 |

2019年3月期通期連結業績予想数値の修正(2018年4月1日～2019年3月31日)

| | 売上高 | 営業利益 | 経常利益 | 親会社株主に帰属する当期純利益 | 1株当たり当期純利益 |
|---------------------|--------|------|------|-----------------|------------|
| | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 円 銭 |
| 前回発表予想(A) | 12,400 | △160 | △220 | △230 | △154.51 |
| 今回修正予想(B) | 12,250 | △310 | △340 | △360 | △243.08 |
| 増減額(B-A) | △150 | △150 | △120 | △130 | |
| 増減率(%) | △1.2 | — | — | — | |
| (ご参考)前期実績(2018年3月期) | 13,264 | △519 | △588 | △981 | △659.67 |

2019年3月期第2四半期(累計)個別業績予想数値の修正(2018年4月1日～2018年9月30日)

| | 売上高 | 営業利益 | 経常収益 | 四半期純利益 | 1株当たり四半期純利益 |
|-------------------------------|-------|------|------|--------|-------------|
| | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 円 銭 |
| 前回発表予想(A) | 5,700 | △110 | △110 | △115 | △77.25 |
| 今回修正予想(B) | 5,700 | △175 | △160 | △165 | △111.41 |
| 増減額(B-A) | 0 | △65 | △50 | △50 | |
| 増減率(%) | 0.0 | — | — | — | |
| (ご参考)前期第2四半期実績(2018年3月期第2四半期) | 6,704 | △112 | △115 | △273 | △182.56 |

2019年3月期通期個別業績予想数値の修正(2018年4月1日～2019年3月31日)

| | 売上高 | 営業利益 | 経常利益 | 当期純利益 | 1株当たり当期純利益 |
|---------------------|--------|------|------|-------|------------|
| | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 円 銭 |
| 前回発表予想(A) | 11,900 | △108 | △110 | △115 | △77.25 |
| 今回修正予想(B) | 11,800 | △210 | △195 | △200 | △135.05 |
| 増減額(B-A) | △100 | △102 | △85 | △85 | |
| 増減率(%) | △0.8 | — | — | — | |
| (ご参考)前期実績(2018年3月期) | 12,670 | △304 | △315 | △679 | △456.16 |

修正の理由

第2四半期累計期間

第2四半期累計期間の業績予想につきましては、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益について、前回発表予想を下回る見込みとなりました。ナタネ油については、採算性を重視した販売に方針転換したことで、一定の利益回復は実現しましたが、市場における競争が依然厳しいことから、回復幅は限定的なものにならざるを得ず、加えて、燃料高騰により、製造コストや物流コストが想定以上に上昇したこと、こめ油についても、引き続き、販売数量は伸長しているものの、例年を上回る夏場の気温上昇の影響によって、製造歩留まりが悪化したことを主因に製造原価が予想を上回ったことから、利益予想を下回る見込みとなりました。

通期

通期の業績予想につきましては、第2四半期累計期間と同様、前回発表を下回る見込みとなりました。第3四半期以降、こめ油の製造効率の改善は見込めるものの、製造コストや物流コストについては、引き続き、厳しい状況が続くことが予想されていますが、利益面での改善は限定的なものに留まる見込みとなっています。また、子会社の整備は概ね整い、稼働を開始しておりますが、本格稼働が今期終盤となり、費用先行によって、黒字化は来期にずれ込む見込みとなっています。これらを踏まえ、通期の連結業績においても、利益予想を下回る見込みとなりました。

※上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであります。実際に業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

以上